

# 鳥取縣公報

第 千 四 〇 一 號

昭和十四年六月二十七日

火曜日

本書ノ大キサノ規定規格A5

## 條 例

### ○鳥取縣條例第十一號

港灣埋立地使用料條例ヲ左ノ通定ム

昭和十四年六月二十七日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

### 港 灣 埋 立 地 使 用 料 條 例

第一條 埋立地ヲ使用セムトスル者ハ知事ノ許可又ハ承認ヲ受クヘシ

第二條 埋立地ヲ使用スル者ニ對シテハ左ノ使用料ヲ徵收ス但シ知事ニ於テ必要アリト認メタル場合

ハ本條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

一 等 地 一 日	金 參 錢	一ケ年金十圓
二 等 地 一 日	金 貳錢五厘	一ケ年金七圓五十錢
三 等 地 一 日	金 壹錢五厘	一ケ年金五圓

十平方米ニ付

使用時間十二時間未滿ナルトキハ前項一日料金ノ半額トス

十二時間以上二十四時間未滿ノ時間ハ二十四時間トシ二十四時間ヲ超過スルトキノ端數ハ二十四時

00893

間トシテ計算ス

十平方米未滿ノ端數ハ十平方米トシテ計算ス

第三條 使用者埋立地又ハ其ノ附屬物件ヲ滅失若ハ毀損シタルトキハ知事ノ命スル所ニ依リ之ヲ原形ニ復シ又ハ其ノ復舊ニ要スル費用ヲ賠償スヘシ

第四條 使用者使用期間滿了スルモ正當ノ理由ナクシテ其ノ使用ヲ止メサルトキハ其ノ使用ヲ禁止シ使用料金ノ五倍以內ニ相當スル過怠金ヲ徵收シ又ハ知事ニ於テ藏匿中ノ物件ヲ適宜處分シ使用者ヲ

ルシテ之カ費用ヲ負擔セシムコトアルヘシ

第五條 埋立地ニ藏匿中ノ貨物又ハ物件其ノ他一切ノ損害ニ對シテハ縣ニ於テ賠償ノ責ニ任セス

第六條 埋立地ノ管理並使用料ノ徵收ニ關シ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年一月鳥取縣條例第一號境港埋立地使用料條例ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

告 示

鳥取縣告示第四百十六號

昭和十二年海軍省令第十號ニ依リ昭和十四年度後期甲種飛行豫科練習生ヲ別記要項ニ依リ徵募セラル

昭和十四年六月二十七日

00894

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

志 願 者 心 得

第一 志 願 者 ノ 資 格

(一) 年 齡

計 算 期 日	年 齡	出 生 期 日
昭和十四年十二月一日現在	滿十六歲以上 滿二十歲未滿	自大正十八年十二月二日 至大正二十二年十二月二日
		出生者

(三) 學 歷

制限ナシ

(三)

中學校第四學年第一學期終了程度以上ノ學力ヲ有スル者

第二 志願書提出期日

志願者ハ左ノ書類ヲ昭和十四年七月二十五日迄ニ到達スル如ク市町村長ヲ經由知事ニ進達スルモノトス

(一) 昭和十四年度後期甲種飛行豫科練習生志願書(様式第一)

- (一) 寫真一葉
- (二) 志願書提出前六ヶ月以内ニ撮影セル半身、脱帽、手札型寫真ノ厚台紙付(覆裝ナキモノ)表  
面餘白ニ本籍地氏名(氏名ニハ振假名ヲ附ス)ヲ自書シタルモノ
- (三) 學業成績證明書
- 最終修學ノ學校長ヨリ全學年ヲ通ズル學業成績證明書ニシテ成績順位ヲ記載シタルモノ
- 第三 徵募 検査
- 徵募検査ヲ分チテ身體検査、學力試験、口頭試問トシ學力及口頭試験ハ身體検査合格者ニ就キ  
之ヲ行フ

(一) 身體検査

年 月 日	検査場 時刻	検査場 所	檢 査 區 域
昭和十四年八月十一日	午前七時三十分	鳥取市寺町 鳥取青年學校	鳥取市、岩美郡、八頭郡、氣高郡、東伯郡
昭和十四年八月十二日	午前七時三十分	米子市中町 米子青年學校	米子市、西伯郡、日野郡

(二) 學力試験及口頭試問

試 驗 場 場 所	志願者検査場參集 年月日及時刻	試 驗 科 目
鳥取市東町 縣立鳥取第一中學校	昭和十四年八月十日 午前七時三十分	代數、國語漢文、作文
	昭和十四年八月十一日 午前七時三十分	幾何、化學、日本歴史
	昭和十四年八月十二日 午前七時三十分	物理、英語、地理
	昭和十四年八月十三日 午前七時三十分	口頭試問

鳥取市東町  
縣立鳥取第一中學校

第四 入隊時線上検査

昭和十二年海軍省令第十號第十九條ニ規定スル検査ハ昭和十四年九月末ニ線上ダ實施シ該検査ヲ受クル者ハ之ヲ入隊付線上検査受檢者トシテ霞ケ浦海軍航空隊ニ出頭セシメ其ノ結果採用スベキ者ハ引續キ入隊セシメラル

第五 入隊期日及場所

昭和十四年十月一日  
霞ケ浦海軍航空隊

第六 受檢者ノ注意

- 一、志願者ハ検査場參集時刻十五分前検査場ニ到着シ検査係員ノ指揮ニ從フコト
  - 二、検査前日ハ必ず入浴シテ身體ヲ清潔ニナシ且安眠スルコト
  - 三、自己ノ被服所持品等整頓ノ爲風呂敷ヲ用意シ來ルコト
  - 四、晝食、鉛筆、ナイフ、消ゴムヲ携帯スルコト
  - 五、尋常小學校六年以上及中等學校ノ通信簿及青年學校手帳持參ノコト
- (様式第一) 用紙半紙

昭和十四年後期甲種飛行豫科練習生志願書

一 本籍地 何縣 何市 何町 大字何 何番地 (屋敷)  
 二 現任地 何郡 何町(村) 本籍地ノ記載例ニ依リ記入スヘシ  
 三 族稱並職業 本籍地ト同一ナルトキハ「本籍地ニ同シ」トスヘシ  
 四 戸主トノ續柄 平民 (士族) 何業 戸主何某何男 (弟)  
 五 志願者氏名 何 某 (右側ニ振假名ヲ附スヘシ)  
 六 出生年月日 大正何年何月何日  
 七 兵役關係 昭和何年適齡 昭何何年卒業 (何學年修了又ハ在學中)  
 八 修學程度 何學校卒業 (何學年修了又ハ在學中)  
 九 青年學校 何科卒業  
 十 身長、體重、胸圍 身長何糖 體重何斤、胸圍何糖  
 十一 海軍志願兵令第二十七條各項ニ該當セス  
 右甲種飛行豫科練習生タルヘキ航空兵志願ニ付寫眞一葉相添ヘ此段相願候也  
 昭和十四年 月 日

鳥取縣知事 何 某殿

格式第二

志願者 何 親權者 何

某 某

◆鳥取縣告示第四百十七號  
 米穀現在高調査員並同販賣高調査員左ノ通囑託解囑アリタリ  
 昭和十四年六月二十七日



鳥取縣知事 副 見 喬 雄

米穀現在高調査員	囑託者	解囑者	擔當調査區域	職務執行ノ場所	囑託解囑年月日
安出 茂夫	安出 茂夫	上田 憲行	八頭郡下私都村	八頭郡下私都村役場	昭和十四年六月二十七日

00899

米穀販賣高	中本	長壽	城口	豊治	同	同	同
調査員							

鳥取縣告示第四百十八號

岡山市内田字操山(俗ニ奥市ト稱ス)一、三〇二番ノ二地ノ一部份有墓地ハ公益上移轉改葬スル事トナリタルニ付同墓地ノ有縁者ハ來ル九月二十日迄ニ管理者タル岡山市長宛申出ツヘク若シ右期日迄ニ申出ナキモノハ異議ナキモノト認メ管理者ニ於テ適宜處理スヘキ旨照會アリタリ

昭和十四年六月二十七日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

鳥取縣告示第四百十九號

昭和十二年十一月鳥取縣令第四十九號「トラホーム」豫防法施行細則第三條ニ基キ左記區域一部ノ住民ニ對シ左記日時場所ニ於テトラホーム檢診ヲ施行ス

昭和十四年六月二十七日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

一 區域 八頭郡山鄉村

二 日 時 自六月廿八日 每日 自午前八時 至六月三十日 至午後四時

00900

二 場 所 八頭郡山鄉村 尋常 小學校  
 四 檢診ヲ受クベキ者

- イ 大正八年十二月一日ヨリ同九年十一月三十日迄ニ出生シタル男子及同年齡ノ未婚ノ女子
- ロ 昭和十四年度徴兵檢査ニ際シ「トラホーム」患者ト診定セラレタル者
- ハ 大正十四年四月一日以降出生シタル者

彙 報

行 旅 死 亡 人

- 一 取扱 人 石川藤羽昨郡志雄町長
- 二 本籍、住所、職業、氏名、年令等 不詳ナルモ一見二十四、五才ノ職工風ノ男子
- 三 人 相 丈五尺三寸位、中肉、面長、鼻高ク耳大其ノ他並頭髪前高ニシテ一寸位ニ伸ブ金齒五本アリ
- 四 着 衣 黒木綿詰襟服上下(但鐵道省所定鈕付ニシテ裏地ニ宮本ト記シアリ) 薄茶色鳥打帽ニ黒皮製編上靴ヲ穿テ黄色青年用レシコトヲ所持ス

五 所持 物件

- ズツク製手提鞆一個、旅行案内地圖四冊、陶枕療法ト題スル書籍一冊、凱旋記念日本手拭一本、クロム製腕時計一個、ナイフ一挺、カルモチン四箱、奇酸加里若干、五月三十一日附東京市上野旅館ノ宿泊領収書一通
- 六 發見ノ日時 昭和十四年六月三日午後四時頃石川藤羽昨郡志雄町字萩島千十四ノ甲地(通稱志呼神社山頂)ニテ發見
- 七 死因及死後 經過 時間 青酸中毒ニヨリ自殺シ死後十時間ヲ經過セリモノト推定セラレ
- 屍体ハ檢視ノ上六月四日午後五時同町萩島墓地ニ假埋葬
- 右心當ノ向ハ直接當該町長宛照會相成度

正 誤

昭和十四年六月二十日附發行鳥取縣公報第千廿九號登載鳥取縣告示第四百三號中左ノ通正誤ノ

頁	行	誤	正
四二	十二行目	金五圓壹錢六厘	金五圓壹錢貳厘
四五	六行目	選舉事務長ノ	選舉事務長ノ
五九	十七行目	金壹百六拾五圓拾四參錢	金壹百六拾五圓四拾參錢
六〇	十四行目	金參拾五圓拾八錢	金參拾五圓八拾錢
六一	十六行目	筆墨紙	筆墨紙費
六七	十九行目	金貳百拾六圓六拾六錢五厘	金貳百拾六圓貳拾六錢五厘
六八	四行目	金壹百八拾七圓壹錢	金壹百八圓七拾壹錢
六九	十七行目	金六圓四拾錢	金貳圓四拾錢

昭和十四年六月廿七日印  
昭和十四年六月廿七發行

發行所 鳥取縣鳥取市東町  
鳥取縣報高部大正村大寺古海  
印刷所 鳥取市